

アービタックス療法の治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～7日目
アレルギー予防	 15分	お休み
アービタックス (セツキシマブ)	 初回は2時間 2回目以降は1時間	

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

〈ご自身でわかる副作用〉

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症がおこります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまいません。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

にきび様皮疹・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日～1週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1～2週間頃にもっとも強く出るといわれています。次第によくなりますが、治療開始3～5週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

そう痒

抗がん剤の副作用による皮疹や皮膚の乾燥に伴って、かゆみを生じることがあります。症状に応じてぬり薬や飲み薬を使います。

⇒かき過ぎてしまうと、かえって症状を悪くしてしまうこともあるので、注意して下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。